
シャープ物流会社、鴻海グループが51%取得

Edited By LogisticsToday On 2016/11/30

シャープは11月29日、鴻海精密工業傘下のJUSDAインターナショナルと合併で10月3日に設立した物流会社「シャープ・シヤスタ・ロシ・スティクス」(SJL)が増資を行い、シャープとJUSDAインターナショナルの子会社で物流・投資事業を手がける「準時達国際」が新株式を引き受けると発表した。

これによりSJLのシャープ持分は49%となり、51%を準時達国際が保有、鴻海子会社の傘下となる。

SJLはシャープの物流業務を集約するために設立した合併会社で、物流効率化・物流コストの低減と物流ソリューションの外販による事業拡大に向けた取り組みを強化するため、「SJL社をJUSDA社グループと共同運営することと、直接的に物流ノウハウの提供を受けることが、不可欠」だと判断、準時達国際が、シャープとともに増資を引き受けることにした。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/267329>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.